

# 緊急 能登やさしいこめづくり情報

## いもち病の発生に注意!!

- 中能登エリアでは『**葉いもち**』が平年より多く発生しています。
- 今後の天候によっては、被害の拡大が予想されるため、**至急、ほ場を確認し、防除を徹底して下さい!**

### 葉いもちの病斑

中央部が灰白色で周辺は褐色の紡錘形。葉の裏面は灰色。



胞子は夜間に飛散し、気温が20~30℃で葉が結露などにより10時間以上濡れていれば感染する。25℃前後で日照不足の気象条件が続くと上位葉に進展し、穂いもちの発生要因となる。

### ① こまめにほ場を見回りし、早期発見に努めて下さい。

- 常発地や葉色の濃いほ場を重点に見回りして下さい。
- 予防剤を施用していないほ場や、いもち病に弱い品種は、特に注意が必要です。  
※ 特に注意を要する品種：コシヒカリ、カグラモチ、ひやくまん穀

### ② 葉いもちを確認したら、すぐに防除して下さい。

- 周辺ほ場の発生状況も確認し、広範囲に発生している場合は、**地域ぐるみで防除して下さい。**

ブラシン粉剤DL	4kg/10a	使用時期：収穫7日前まで 成分数：2成分 使用回数：2回以内
または ブラシンフロアブル	1,000倍希釈 60~150リットル	※ 能登米の場合は、農薬の成分回数に注意下さい。

※ 梅雨の晴れ間を見計らい、散布後3~4時間の無降雨が続くタイミングで散布

- ずり込み症状を呈するほ場では、**4~5日後に薬剤の再散布**を行って下さい。

### ③ 葉いもち発生の有無に関わらず、基幹防除を徹底して下さい。

【1回目】	出穂直前	トレバリダビーム粉剤DL	いもち・紋枯・カメムシ	2成分
【2回目】	出穂7~10日後	ラブサイドキラップ粉剤DL	いもち・カメムシ	2成分
【3回目】	出穂14~17日後	キラップ粉剤DL	カメムシ	1成分

病害の対策は、①「治療より予防」 ②「早期発見・早期防除」が鉄則